

平成25年第10回県教育委員会会議 報告事項(1)

総務課

1 報告事項

平成25年第4回沖縄県議会(6月定例会)における質問・答弁概要報告

2 事項の説明

- 平成25年6月19日に開会した平成25年第4回沖縄県議会(6月定例会)における代表質問、一般質問において主に次のような質問等があった。

主な質問事項及び質問者(敬称略)

- (1) 八重山教科書について：新垣良俊、仲村未央、瑞慶覧功、新垣清涼
- (2) 教科書検定・採択等への見解について：西銘純恵
- (3) 平和教育について：山内末子、仲宗根悟、新垣清涼
- (4) 沖縄の歴史教育について：赤嶺昇、前島明男
- (5) 離島・へき地学習支援事業について：崎山嗣幸
- (6) 離島高校生支援事業の実施状況について：崎山嗣幸
- (7) 離島児童・生徒支援センター(仮称)の進捗状況について：崎山嗣幸
- (8) 離島への正規教員の配置及び教職員宿舎等について：西銘純恵
- (8) 離島における教育条件の整備について：西銘純恵
- (9) 与那国町における教職員の人事異動について：比嘉京子
- (10) 幼稚園がない離島での就学前教育について：比嘉京子
- (11) 複式学級について、小学校1・2年生だけでも単式に出来ないか：比嘉京子
- (12) 八重山3市町のALTの配置状況について
- (12) 特別支援学級の設置、離島での設置基準について：比嘉京子
- (13) 八重山高校の学寮について：比嘉京子
- (14) 教職員住宅が不足している、現状認識と対策について聞きたい：比嘉京子
- (15) 離島の児童生徒への各種大会への派遣費支援について：具志堅透
- (16) 久米島博物館の資料等の保存対策について：新垣安弘
- (17) 難聴児童生徒の実態及び、助成について：金城勉、前島明男
- (18) 就学援助事業の拡充、推移等について：玉城ノブ子、玉城義和
- (19) 就学援助事業に係る民生委員の助言について：玉城ノブ子
- (20) 体罰について：新垣良俊、玉城義和
- (21) 義務教育未修了者支援事業について：新垣良俊
- (22) 爆音被害の実態に即したクーラー維持費の通年適用について：仲村未央
- (23) 高校生のキャリア教育の効果について：金城勉
- (24) 英語授業マイスターの成果と今後の展開について：金城勉
- (25) 大学院大学、アミークス、基地内学校との連携について：金城勉

- (26) 海外との姉妹校提携の進捗状況はどうか：金城勉
- (27) 国公立大学への県内高校生の進学率について：金城勉
- (28) 臨時教員を全国並みの正規雇用にする取り組みについて：西銘純恵
- (29) 教師の多忙化の解決策及び負担軽減検討委員会の実態等について：嘉陽宗儀
- (30) 学力向上推進運動のこれまでの取り組みについての総括について：嘉陽宗儀
- (31) 私学の抱えている問題点を教育委員会は掌握しているか：嘉陽宗儀
- (32) 学校給食の無償化等の実施状況について：玉城ノブ子
- (33) 国に義務教育の無償化を求めることについて：玉城ノブ子
- (34) いじめの実態について：玉城義和
- (35) 少人数学級の導入について：狩俣信子
- (36) 公立学校における病気休職者等について：狩俣信子
- (37) 県立特別支援学校高等部分教室の今後の取り組み等について：狩俣信子
- (38) 特別支援教育支援員の実績及び、県の対応について：具志堅透
- (39) 食物アレルギーの実態と対策について：山内末子
- (40) 学校敷地が私有地或いは後援会所有となっている実態等について：山内末子
- (41) 日本学生支援機構の奨学金の返済滞納額の県内の実態について：新里米吉
- (42) 食育の取り組み計画等について：比嘉京子
- (43) 小学校での血液検査の実施について：比嘉京子
- (44) 県立図書館の新築、移転、県民からの意見について：新垣安弘
- (45) 県内の近現代に活躍した歴史家などの顕彰について：新垣安弘
- (46) 道徳教育について：前島明男
- (47) 学校教育等におけるN I Eの効果について：前島明男
- (48) 野國總管及び豚を運んだ7名の勇士の教材化について：中川京貴

このうち、「八重山教科書問題」「平和教育について」の答弁要旨は、次のとおりです。

(1) 八重山教科書について 質問者(敬称略)：新垣良俊、仲村未央、瑞慶覧功、新垣清涼

質問要旨： 八重山地域における教科書問題について聞きたい。

答弁要旨： 八重山地区教科書につきましては、3市町教育委員会で、同一の公民教科書が採択できず、文部科学省への需要数報告ができていない状況にあります。

八重山教科書については、当該3市町教育委員会が主体的に取り組み解決していくべきものと考えており、直接3市町教育長と話し合い、同一の教科書が採択できるよう再協議を促しているところです。

なお、6月26日に八重山採択地区協議会総会が開催され、今後、改めて日程を調整し協議していくことを、互いに確認したと聞いております。

県教育委員会としましては、今後も引き続き3市町教育委員会それぞれの立場を尊重しつつ指導助言を行い、同一の教科書採択の実現に努めてまいります。

(2) 平和教育について 質問者(敬称略)：山内末子、仲宗根悟、新垣清涼

質問要旨： 沖縄市の調査によると平和教育に三割余りの教師が「指導方法が分からない」と答えたとする沖縄戦の語り継ぎに苦慮する教育現場の実態が明らかになった。県としてどう捕えているか。

答弁要旨： 戦後68年が経過し、戦争の風化が叫ばれる中、沖縄戦の悲惨な実相や教訓を正しく後世に継承することは重要なことであります。

県教育委員会では、平和教育の重要性に鑑み、初任者研修や校内研修等の中で、教員の指導力の向上に努めてまいりましたが、三割余りの教師が「指導方法がわからない」と答えたことを、重く受け止めております。

子どもたちが平和で民主的な国家及び社会の形成者として育つよう、教師が指導力の向上に努め、平和教育の充実に取り組むことは何よりも大切なことであり、今後とも、研修体制を充実するとともに関係機関等と連携協力し、平和教育をより一層推進してまいります。

○ 文教厚生委員会において以下の陳情の審議が行われた。

(1) 陳情審査

・新規陳情(2件)

陳情 第50号の3 平成25年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情 (継続審査)

陳情 第55号 「30人以下学級」早期完全実現に関する陳情 (継続審査)

・継続陳情(9件)

陳情平成24年第74号 沖縄県立図書館八重山分館の廃止決定に関する陳情 (継続審査)

陳情平成24年第104号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化に関する陳情 (継続審査)

陳情平成24年第111号 離島在住の子どもたちの寄宿舍建設に、那覇市久茂地の沖縄少年会館(久茂地公民館)の土地・建物の那覇市からの無償譲渡による利活用を求める陳情 (審議未了)

陳情平成24年第156号 八重山地区教科書問題の解決に関する陳情 (継続審査)

陳情平成24年第174号 航空運賃団体割引制度の改善による離島児童生徒の経済的負担軽減を求める陳情 (継続審査)

陳情平成24年第193号 「教育の日」制定に関する陳情 (採択)

陳情平成24年第194号 スクールソーシャルワーカー活用事業に関する陳情 (継続審査)

陳情 第6号の2 第64回九州地区地域婦人大会決議に基づく陳情書 (継続審査)

陳情 第28号の2 しまくとぅばの継承・復興事業に関する陳情 (継続審査)

このうち、陳情の審査について主なものは以下のとおりである。

陳情平成24年第193号 「教育の日」制定に関する陳情

陳情要旨： 全国連合退職校長会では、教育の重要性に鑑み、「教育の日」の制定に向けて、運動を展開している。

平成23年12月現在、「教育の日」と同様の趣旨で制定した都道府県は32、制定市町村は135を数えるまでになった。

沖縄県退職校長会においても、これまで各自治体の教育長を訪問し、教育懇談を通して「教育の日」制定の趣旨説明と要請を行ってきた。その結果、県下では、11市町村(伊是名村・西原町・浦添市・那覇市・南風原町・宮古島市・石垣市・糸満市・南城市・うるま市・名護市)が制定済みであり、これは県内市町村の27%に当たる。

沖縄県退職校長会は、県としての「教育の日」制定を促し、我が県の教育振興に寄与していきたいと考えている。

については、「教育の日」を制定するよう配慮してもらいたい。

処理方針：「教育の日」の制定に関しましては、地域住民の教育尊重の気運を高め、教育の振興を期する日として、各県ならびに各市町村においても制定しているものと理解しております。

本県における「教育の日」の制定につきましては、現在、検討委員会を設置し、平成26年度制定に向け、制定日、実施期間、内容等について、検討をしているところです。

○ 総務企画委員会において、以下の議案に対する審査が行われた。

(1) 議案審査(教育委員会関係)

乙第11号議案 沖縄県教育委員会委員の任命について (同意)

※各委員会で審議された教育委員会関係議案等の本会議における処理状況
(平成25年7月11日閉会)

乙第11号議案は、原案のとおり可決された。

関係陳情の審査の結果は、各委員会委員長の報告のとおり決定された。